

# 平成17年度上期 電力需給状況

## 需要の概要

平成17年度上期の販売電力量は、139億6千1百万kWh時、前年比 101.0%となった。

### 〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、前年に引き続き夏場の気温が高めに推移したことなどから、前年比 100.1%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、電灯と同様の理由から前年比 101.7%となった。

産業用の「大口電力」は、紙・パルプ、化学、鉄鋼、機械における生産増などから、前年比 103.6%となった。

## 需要実績

(百万kWh時、%)

		電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	4,477	100.1
	電 力	1,141	97.2
	計	5,618	99.5
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	3,197	101.7
	産業用電力	5,146	102.4
	うち大口電力	(3,856)	(103.6)
	計	8,343	102.1
販売電力量 計		13,961	101.0

融 通	3,709	92.2
-----	-------	------

注1. 特定規模需要とは、特別高圧電力および高圧電力の合計で自由化の対象。  
 2. 17年4月より自由化範囲が拡大されたことに伴い、16年度以前の需要区分と一部異なる。  
 前年比は、前年同期の実績を現在の区分に合わせることで算定した。

## 大口電力の主な産業別内訳

(百万kWh時、%)

	電力量	前年比		
		17 / 上	16 / 下	16 / 上
紙・パルプ	672	105.7	101.7	101.7
化 学	799	103.8	105.7	104.7
鉄 鋼	466	108.2	102.0	102.2
機 械	818	104.0	106.2	108.8
そ の 他	1,101	100.1	100.2	103.8
合 計	3,856	103.6	103.0	104.4

## 供給の概要

- 原子力は、前年に比べ定期検査の日数が少なかったことから、前年比 114.1%となった。
- 水力は、渇水により前年比 59.5%となった。
- 以上の結果、火力は、前年比 98.1%となった。

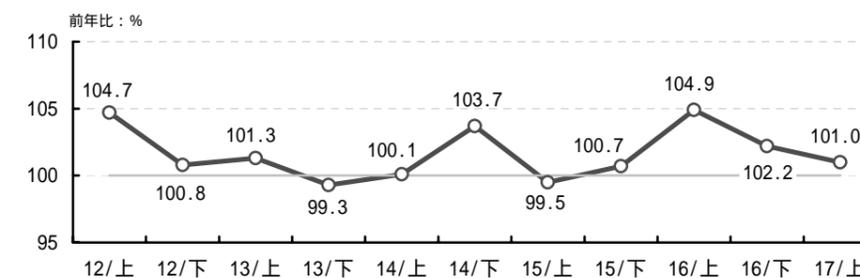
## 供給実績

(百万kWh時、%)

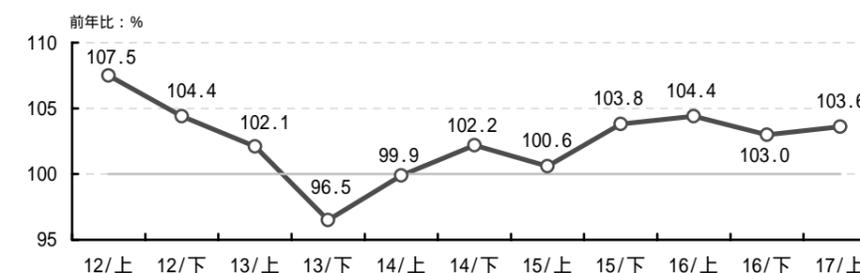
		電力量	前年比	備 考
原子力	( 44)	8,629	114.1	出水率 64.9% (16年上期出水率 113.3%)
水 力	( 8)	1,505	59.5	
火 力	( 48)	9,474	98.1	
発受電計	(100)	19,608	100.0	
その他		263		
供 給 計		19,345	99.0	

注.( )内は構成比

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



(参考2) 大口電力の前年比の推移



(参考3) 4県都平均気温

	7月	8月	9月	7~9月
実績	27.0	27.9	25.7	26.9
平年差	0.5	0.6	1.9	1.0
前年差	1.7	0.3	0.3	0.3

(参考4) 各県別の需要状況

(百万kWh時、%)

	徳 島	高 知	愛 媛	香 川
販売電力量計	(102.8)	( 98.9)	(101.0)	(101.0)
	3,205	2,347	4,819	3,590

注.( )内は前年比